

学校名 [仙台市立八幡小学校] 氏名 [宮崎 美喜] [小] 学校 [1, 2, 3] 年版 単元名 [あの日 2011.3.11] P4～5 教科・領域名 [学級活動] [時間 45分]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>目指す児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆東日本大震災の被害の様子やそのときの人々の状況について、関心を持って話を聞いたり考えたりできるようにする。 ◆話し合いを通して、防災や減災の学習の大切さに気付くようにする。 	
<p>1 東日本大震災の被害の様子について知る。</p> <p>今から○年前、東北地方でとても大きな地震が起きました。①～⑤の写真から分かることや気付いたことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家が水の中にある。燃えている家もある。 ・大きな波が押し寄せている。 ・ヘリコプターは人を運んでいるのかな。 ・建物がぐちゃぐちゃに壊れている。 ・体育館に人がいっぱい集まっている。 <p>2 震災後の人々の生活の様子を知る。</p> <p>大きな地震のために津波が起こり、たくさんの家が流されました。道路も使えなくなったので、ヘリコプターで人を助けています。道路の他に、どんなものが使えなくなったのでしょうか。また、そのためにどんな困ったことがあったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気、水道、電話、ガスが使えなくなった。 ・電気が使えなくて暗い。ヒーターが使えなくて寒い。 ・ご飯が作れない。お風呂にも入れない。 <p>震災のとき、みなさんはまだ1～2歳でした。そのときの様子を、お父さんやお母さんに聞いてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の上に家具が倒れないように、必死で支えた。 ・懐中電灯を点け、話をしたり歌を歌ったりして元気を出した。どこも真っ暗で、星がきれいだった。 ・家にあった缶詰などを食べた。ヒーターが使えなくて寒かった。 ・体育館に避難し、おにぎりをもらって食べた。 <p>3 まとめ</p> <p>震災の様子を勉強して、分かったことや思ったことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震のとき、たくさんの人が亡くなって、大変なことがいっぱいあったことが分かった。 ・助けてくれた人がたくさんいたことが分かった。 ・また地震がきたら、どうすればいいのかな。 	<p>○授業参観でこの学習を行い、保護者に協力をいただく。</p> <p>○児童は当時1～2歳なので、震災に関する記憶はほとんどない。写真を見ても正確に状況を捉えるのは難しいので、被害の様子を説明する。(地震による津波と、それによる被害、建物の倒壊、避難所に集まる人々等)</p>   <p>○生活グループにして、子供たちの保護者に震災当時の様子を話してもらい、自分の家族の様子や友達の様子について直接話を聞くことにより、児童が自分の身近な問題として捉えられるようにする。</p> <p>○ライフラインの復旧や支援物資、炊き出等、全国から支援の手が差し伸べられたことにも触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家を流された人たちは、どれくらいつらかったのか。今は、どうしているのか。(児童の感想)
<p>本時の授業で学んだことを、①どこに②どのようにつなげるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆道徳「かぞくのやくにたつこと」(4—(3))につなげ、助け合って生活する意識を持たせる。 ◆「地震想定避難訓練」につなげ、自分なりのめあてを持って訓練に参加させるようにする。 	